

# ⑱「沖縄の金融・経済のあゆみ」

企画部

実施主体：沖縄県

実施時期：令和4年度

<50周年記念事業のテーマ>

2 事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。

## 【事業の内容等】

本土復帰50周年を機に、戦後沖縄経済史の中から、特に、①基地依存型輸入経済の成り立ち、②沖縄の通貨の歴史、③基地経済、など沖縄の金融・経済のあゆみについて、冊子(アニメ版)、WEB、シンポジウムなどを通じ、わかりやすさを主眼において県民をはじめ内外に発信していくことで、幅広い世代において沖縄が歩んできた歴史的な経済事情の理解を深めるとともに、沖縄経済の未来を展望する。

## 【発信内容のポイント】

### 1 基地依存輸入経済の成り立ち

米軍占領により、「基地依存型輸入経済」が形成され、製造業がほとんど根付かないまま、産業構造がサービス産業の中心となった成り立ちについて

### 2 沖縄の通貨の歴史

沖縄が「アメリカ世」で経験した、「物々交換時代」「B円時代」「米ドル時代」「ニクソン・ショック」など、通貨の歴史について

### 3 基地経済

復帰直後は、基地経済に依存していたが、経済規模が拡大にするにつれ、その割合が低下していることについて etc

## <シンポジウム案>

場所・日時：県立武道館アリーナ(10月下旬・産業まつりにて)

テーマ：復帰50年の沖縄の金融・経済のあゆみと未来展望

講演：県内有識者

想定パネラー：大学教授、公庫理事長、県内金融機関、若手実業家など



(イメージ) 冊子/シンポジウム

